

## 甲陽学院サッカー部 森本保先生退職謝恩会

2017年2月11日(土)ノボテル甲子園において、サッカー部OB約60名が集まり「甲陽学院サッカー部森本先生退職謝恩会」が開催されました。

森本保先生は1979年4月に甲陽学院の教壇に立ち始めてから38年間に亘って数学を指導してこられました。また、教鞭をとっておられたのとほぼ同じ期間サッカー部顧問として甲陽学院サッカー部の運営・指導にもご尽力下さいました。今年3月で定年退職されるということで、サッカー部でお世話になったOBで何か感謝の気持ちを伝える機会を持ってないかとの思いで謝恩会を企画し、開催の運びとなりました。

謝恩会は、昨年末に亡くなられた前OB会長中村貞三氏(35回)に対し黙祷を捧げた後、世話人代表の加藤隆哉氏(65回)の開催ご挨拶、ご来賓として参加いただいたOB会長南聰氏(43回)のご挨拶、副会長揚野寛氏(45回)の乾杯でスタートしました。歓談の後、各学年毎にステージに上がり、森本先生との思い出やエピソードを感謝の気持ちとともに披露し、終始和やかな雰囲気の中で会は進行しました。受付の際に甲陽一灘のサッカー定期戦や甲陽一関学の交歓競技会(甲関戦)の戦績の資料が配布され、あちらこちらで現役当時のプレーや印象に残った試合等の話に花が咲いていました。残念ながら当日参加できなかったOBからもたくさんのメッセージが寄せられており、中には海外からのメッセージの紹介もありました。森本先生に対するOB諸氏の思いの強さを感じる一面でした。記念品贈呈では、純白のサッカーボールに参加者全員が名前を書き込んだ記帳ならぬ「記ボール」、実際に使用可能な全面ゴールド地に赤マークのサッカーシューズ、2002年ワールドカップ記念の純金メッキのホイッスルとサッカーづくしのプレゼントが手渡されました。パーティー終盤では、サプライズゲストとして森本先生の奥様にもご参加いただき、花束贈呈が行われ大いに盛り上がりました。最後に森本先生から甲陽学院での思い出についてのお話があり、先生の教育に対する真摯で誠実な姿勢が強く伝わってきました。参加者の中には関東はじめ全国各地から駆けつけた人も多く、卒業以来の再会で学年をまたいだ交流があちらこちらに見られ同窓会のような雰囲気でした。普段なかなか会う機会の無いメンバーも森本先生の退職謝恩会ということで一堂に会することができ、あっという間の3時間で、参加者皆が大変楽しく充実した時間を過ごせました。これもまた、森本先生のお人柄のなせる技と改めて感謝の気持ちを強くしました。謝恩会は大盛況の中、記念撮影・先生の胴上げで幕を閉じました。

ご退職後は数学の道とは少し距離を置いて、趣味のクラシック音楽や登山、旅行等を楽しまれるご予定とのことです。森本先生は甲陽学院を退職されますが、サッカー部OBとしてのおつきあいは今後も続いていきます。森本先生、長い間大変お疲れさまでした。そして、これからもよろしくお願いたします。(記 68回 青野益久 柴原基)

